

院内におけるアピアランス支援体制構築に対する調査

京都府立医科大学附属病院では、がん患者さんを対象にアピアランスケア（外見の変化に対するケア）に関する臨床研究を実施しております。

実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

・ 研究の目的

がん治療における副作用（脱毛、皮膚障害、浮腫、体重変化など）により、患者さんの外見（アピアランス）が変化し、QOL（生活の質）や社会生活に大きな影響を与えることが知られています。がん診療連携拠点病院には、がん患者さんが外見の変化によって生じる苦痛を軽減し、QOL を維持・向上させるため、アピアランスケアを積極的に推進し、質の高いケアを提供していくことが求められていますが、日本においては院内におけるアピアランス支援体制の整備は十分とは言えず、医療従事者の認識や課題も十分に明らかになっていません。

本研究では、がん患者さんが抱える外見の変化による困りごとの実態と、医療機関に勤務する医療従事者を対象に、アピアランス支援に対する認識、課題、体制整備の必要性などをアンケート調査により明らかにし、今後の支援体制構築に向けた基礎資料としたいと考えております。

・ 対象となる方について

2024 年 9 月 1 日から 2026 年 8 月 31 日までの間に、京都府立医科大学附属病院薬物療法センターで抗がん剤治療を受けられた方

・ 研究期間： 医学倫理審査委員会承認後から 2027 年 3 月 31 日

・ 情報の利用を開始する予定日：

医学倫理審査委員会承認日（2025 年 10 月 1 日）

・ 方法

当院薬物療法センターにおいて抗がん剤治療を受けられた患者さんの診療記録より、年齢と性別、治療開始前に記載していただいている症状チェックシートの「外見の変化に関する困りごと」の記載内容とその対処内容等について情報を抽出し、統計処理を行います。

・ 個人情報の取り扱いについて

氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し、研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。

また、この研究の成果を発表する場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。

なお、この研究で得られた情報は研究責任者（京都府立医科大学附属病院・看護師・服部美景）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・ 研究資金及び利益相反について

利益相反とは、寄附金の提供を受けた特定の企業に有利なようにデータを操作する、都合の悪いデータを無視するといった、企業等との経済的な関係によって、研究の公正かつ適正な実施が損なわれるまたは損なわれているのではないかと第三者から懸念される状態をいいます。本研究に関する利益相反については、京都府公立大学法人の利益相反に関する規程、京都府立医科大学の臨床研究に係る利益相反に関する規程等にしがって管理されています。

本研究の実施にあたり、開示すべき利益相反はありません。また、特段の経費は必要としません。

・ 研究組織

研究責任者：京都府立医科大学附属病院・看護部・看護師・服部美景

研究担当者：京都府立医科大学医学部看護学科・講師・越智幾世

京都府立医科大学附属病院・看護部・看護師・光本かおり

京都府立医科大学附属病院・呼吸器内科・教授・高山浩一

京都府立医科大学附属病院・消化器内科・講師・石川剛

お問合せ先

患者さんのご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2027年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

京都府立医科大学附属病院 患者サポートセンター 服部美景・光本かおり

TEL : 075-251-5182

受付可能時間帯 月曜～金曜 ・ 9時～17時（年末年始を除く）